高橋和巳全集

第十四巻

吉川幸次郎
埴谷雄高

河出書房新社

高橋和巳全集　第十四巻

評論4　©1978

一九七八年　七月十日　初版印刷
一九七八年　七月十五日　初版発行

著　者　高橋和巳

発行者　佐藤晧三

発行所　河出書房新社
東京都新宿区住吉町九五
電話　営業〇三―三五五―五三一一
編集〇三―三五五―五三一二
振替　東京〇―一〇八〇二

印刷・製本　中央精版印刷株式会社

落丁・乱丁本はお取替えいたします

目次

此为试读,需要完整PDF请访问: www.ertongbook.com

I

文学の責任　5
現代思想と文学　51
戦争文学序説　77
戦後文学の思想　92
戦後文学私論　129
戦後派の方法的実験　147
政治と文学　158
〈性〉的素材主義批判　173

II

なぜ長篇小説を書くか　187
もう一つの劇　196
文学否定論について　202
想像の魔性について　205
事実と創作　209
妄想のたのしみ　215

愚昧への道 217
書物と驢馬 220
〈邪読〉について 223
読書のかたち 227
未だ形なき新しい読書 229
精神の網 230
イメージをはぐくむ 231
みやびと野暮 233
キリスト教の投影 235
〈沈黙する神〉と転向 240
悪の進化について 243
文学者にみる視野脱落 245
文人相軽 248
文学と友情 250
文学と季節 253
詩と風土 257
孤独なる遊戯 265

小さな野心 267
私の小説作法 268
私の文章修業 270
私の読書遍歴 273
私の語学 276
世界語を作る必要性 285
散華の世代 287
転向文学論 291
孤独なる邪宗 296
「義」を渇望する常民 300
文学の中の人間関係 302
心に降る雪、積る雪 304
〈志〉ある文学 306
作家の行動について 309
ディオニソスの時 312
文学の苦しみ 314
長篇の功罪 316

二つの「飛翔」　319
「不可能な三幕」について　322
投稿について　323
京都の文学青年達　326
『近代文学』終刊号を読んで　329

Ⅲ

文芸時評・一九六三年十月号　335
文芸時評・一九六三年十一月号　339
文芸時評・一九六三年十二月号　342
文芸時評・一九六四年七月号　346
文芸時評・一九六四年八月号　350
文芸時評・一九六四年九月号　354
北川荘平『水の壁』　358
橘外男『ある小説家の思い出』　359
高見順『遠い窓』　360
ウェーリー『白楽天』　361

堀田善衛『零から数えて』 364
鈴木虎雄注釈『李長吉歌詩集』 365
尾崎秀樹『魯迅との対話』 368
中村真一郎『戦後文学の回想』 369
花田清輝『シラノの晩餐』 371
辻邦生『廻廊にて』 372
竹内好編集・解説『アジア主義』 373
藤枝静男『ヤゴの分際』 375
堀田善衛『審判』 377
荒正人編著『ドストエーフスキイの世界』 379
奥野健男『文学的制覇』『文学は可能か』 380
海音寺潮五郎『孫子』 382
『一九六八年佐世保詩歌集』跋 384
松原新一『転向の論理』 387
『捨子物語』（足立書房版）あとがき 389
『捨子物語』（河出書房新社版）あとがき 392
『捨子物語』（河出書房新社版）著者のことば

『悲の器』受賞のことば　398
『悲の器』あとがき　398
『悲の器』作者のことば　401
『文学の責任』あとがき　401
『憂鬱なる党派』作者のことば　403
『孤立無援の思想』著者のことば　404
『邪宗門』作者のことば　404
『邪宗門』作者あとがき　405
『邪宗門』あとがき　406
『新しき長城』あとがき　409
心の真実を求めて　412
『文学のすすめ』あとがき　412
『堕落』あとがき　414
『孤立の憂愁の中で』あとがき　417
『生涯にわたる阿修羅として』あとがき　421
人間の無限の可能性　424
人間の姿が浮彫りにされている　425

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

襟を正させる仕事　425
哲学との対話の魅力　426
歴史の生きた知識として　426
戦後精神の端的な表現史　427
内的葛藤の原型　428
試練の一端を分有しうることを喜ぶ　428
未来からの問責　429
「対話」編集後記　430
第一回末川賞小説の部選評　434
日本読書新聞創刊三十周年記念評論応募作選評
第三回現代評論社賞選評　437
近況　439
われを忘れた時の女性　440
私のえらんだ本年度ベスト・ワン　441
今年の収穫　441
感銘をうけた本　442
私の再刊ぎぼう　442

掘出した本、探している本　443
私はこう思う—あなたは中国をどう思うか　444
私はこう思う—流血の佐世保・エンタープライズ入港
〝ソ連侵入〟をこう考える　445
日本の70年代・核武装　446
解題・補記　447

第十四巻　評論4

I

此为试读,需要完整PDF请访问: www.ertongbook.com